

大空 —放哉だより—

第137号 2023.1.5

発行：小豆島尾崎放哉記念館 〒761-4106 土庄町本町甲 1082 ☎62-0037

令和4年度尾崎放哉生誕記念 放哉講話

大正14年8月20日から翌年4月7日に亡くなるまでの約8ヶ月間、小豆島・西光寺奥の院南郷庵の庵主として過ごし、約2,700もの句を作った自由律俳人・尾崎放哉は、明治18年1月20日、鳥取市で生まれました。この生誕の日を記念して放哉講話を開催します。

【1、活動紹介】

松山での山頭火の顕彰活動と一草庵・・・NPO法人まつやま山頭火倶楽部事務局 長／松井 征史 氏

【2、講演】

松山の山頭火・・・【講師】「子規新報」編集長／小西 昭夫 氏

【日時】令和5年1月15日（日） 13時～15時頃

【場所】中央公民館2階 中会議室

【入場料】無料

【定員】先着40人

【申込み・問合せ】小豆島尾崎放哉記念館 ☎0879-62-0037（水曜日休館）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、発熱や咳・のどの痛みなどの症状がある方は、ご来場をお控えください。また、ご来場の際は、マスクの着用および消毒・検温にご協力願います。

おすすめの1冊

孤独の俳句「山頭火と放哉」名句110選

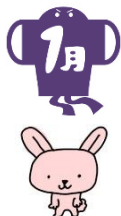
著者：金子兜太 又吉直樹

発行所：株式会社小学館

金子兜太氏が山頭火、又吉直樹氏が放哉の句をそれぞれ55句厳選し、解説しています。その選句にあたってのお二人の思いも綴られています。また、俳句だけでなく、山頭火・放哉の生涯やゆかりの地、ブックガイドなども掲載されています。

金子兜太氏…俳人。朝日俳壇の選者を務め、現代俳句協会会長などを歴任。紫綬褒章、菊池寛賞など多数受賞。また種田山頭火、小林一茶の研究家としても知られる。著書多数。

又吉直樹氏…お笑いコンビ「ピース」として活躍。小説デビュー作『火花』で芥川賞受賞。自由律俳句句集などを発表。



日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

●放哉だより発行日
□記念館休館日 □資料館休館日

1月20日(金)は生誕記念日(明治18年1月20日生)です。

当日は記念館・資料館共に入館料無料です。

放哉講話は1月15日(日)です。是非お越しください。

明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

現在、記念館・資料館では新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、以下の対策を実施しております。ご協力よろしくお願いいたします。

・マスクの着用 ・換気のため、出入り口および窓の開放 ・アルコール消毒液（館内に設置しています）での手指消毒または手洗い ・受付での記帳（住所・氏名・電話番号（緊急連絡先））